

JR飯田線とリニア中央新幹線との接続方法について

飯田市

【経過等】

- 伊那谷自治体会議（H29. 01. 20 及び H29. 11. 13）での確認事項
 - ・ JR飯田線乗換新駅の設置を伊那谷自治体会議の検討事項として位置づけること
 - ・ 乗換新駅については、地元の負担設置による請願駅の扱いとすること
 - ・ 設置に関するJR東海との交渉及び具体的検討の主体は飯田市が担うこと
- 上記の3つの確認事項を踏まえ、乗換新駅設置に当たり必要となる実施基準（平面曲線、縦断勾配、旅客ホームの長さ等）について、飯田市として調査・研究を実施
- JR東海とは、県と連携しながら協議を継続

【乗換新駅見直しの理由】

- 乗換新駅の場合、施設整備が前提にあるため、それを固定的費用とした上で検討せざるを得ないが、新しい交通システムの場合は、整備費用が固定化されないため、運営等について柔軟な発想・対応が可能

【今後の方針】

- 「JR飯田線とリニア中央新幹線の接続」は重要課題であり、それゆえその接続方法や具体的な乗換機能等の検討が今後も必要であるという認識
- 今後は、乗換新駅というハード整備ではなく、新しい交通システムを考慮した接続方法を検討していく
- リニアの整備効果を広域的に享受していくためには、上伊那地域あるいは下伊那地域の各市町村とリニア駅とをいかに利便性よく結ぶか、またそのための2次交通をどう整備するかといった観点が重要
- この観点を踏まえ、JR飯田線とリニア中央新幹線との接続方法に関し、下伊那北部・上伊那方面については元善光寺駅との接続を検討しつつ、下伊那南部方面についてもより利便性が高まる接続となるよう、自動運転等の新たな交通手段の導入も視野に入れながら検討を重ねていく。